

令和6年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	193200222	事業の開始年月日	平成22年 8月 1日
		指定年月日	平成22年 8月 1日
法人名	ALSOK介護株式会社		
事業所名	グループホームみんな家 横浜今宿		
所在地	(〒241-0817) 神奈川県横浜市旭区今宿1-36-25		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	令和6年10月17日	評価結果 市町村受理日	令和7年3月28日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「笑顔の溢れるホーム作りを」という理念に基づき、普段から、レクリエーション活動やイベントを元に笑顔の溢れる用に心掛けています。2024年になり、コロナも落ち着き、ボランティア活動や外部との交流も少しずつ増えています。又毎月、金が谷主催のオレンジカフェにも参加し、ご利用者様の健康面・安全面に留意しながら、ホーム運営を行っていきたくと考えています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル9F		
訪問調査日	令和6年11月7日	評価機関 評価決定日	令和7年2月20日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の概要】
当事業所は、相鉄線「二俣川」駅北口から相鉄バスに乗車し、ニュータウン第五バス停下車、徒歩4分程に立地している。木造造り2階建ての建物で富士山や大山が望める。AEDを導入し、1階に機械浴の設備を整えている。

【理念の実践】
全体会議で検討し作成した「笑顔あふれるホーム作りを」という理念を掲げている。理念を玄関に掲示し、職員はもとより、家族等とも共有できるようにしている。日常会話やレクリエーションを職員が楽しみながら行うことが利用者の笑顔につながると捉えてサービスを提供している。

【通信環境を整えSNSを活用した様々な取り組み】
法人主導のリモート体操やヨガなどを積極的に導入して体を動かすことにより、利用者の気分転換を図っている。サテライト事業所が開催するオレンジカフェにリモートで参加し皆で楽しんでいる。モバイル端末を使った誤薬防止服薬支援システムを採用し、投薬ミスを防いでいる。会議や研修に参加できなかった職員の内容共有のツールとしてSNSの通信アプリを活用している。事業所は、ブログの更新に努め利用者の様子を発信している。

【利用者の思いや意向を推測して検討】
日本語が話せない中国人帰国者を受け入れ、翻訳アプリやジェスチャー、イラストに母国語を記したボードを使い意思を確認している。言葉に表すことが困難な利用者同様、態度や顔に表れる変化を捉え意向を推測し検討している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家 横浜今宿
ユニット名	IU

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

事業所名	グループホームみんなの家 横浜今宿
ユニット名	2U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況 200文字	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は今年から変更し、玄関に掲示してあり、月2回の会議にて理念の共有・実践に努め、常に確認している。	全体会議で理念の見直しについて検討し、「笑顔あふれるホーム作りを」という理念を掲げている。理念を玄関に掲示し職員はもとより、家族等とも共有できるようにしている。職員は、利用者の日常を穏やかに大切に過ごしてもらうよう心がけている。職員が日常会話やレクリエーションを楽しみながら行うことが利用者の笑顔につながると捉えサービスを提供している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、夏祭りの時、施設に子供神輿が来て下さり、子供・親との交流もあり、ボランティア活動も再開しました。	町内会の行事は、回覧版を通じて把握している。敬老の日には町内の方がケーキを届けてくれる。また地域の夏祭りは、事業所が子供神輿の休憩場所になっていて、アイスキャンデーを食べる子供たちの元気な声が響きわたり、利用者の楽しみのひとつになっている。腹話術や事業所の周囲を定期的に掃除を行うボランティアが来所している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現時点では、積極的に行っているものはないが、町内会や地域の方々の相談等がある場合には、お話しを伺ったうえで関連部署につないでいる。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月に1回、金が谷と合同で、運営推進会議を行い、民生委員や地域ケアプラザとの交流を続けています。	運営推進会議を偶数月に開催し、年6回開催のうち3回は、指定サテライト型本体事業所と合同で行っている。メンバーは、両事業所管轄の町内会会長と民生委員、地域包括支援センターの職員、それぞれの事業所の職員で構成されている。参加者からは「町内会会長など、担当地域外の方々との交流の機会が無いので、運営推進会議への参加は参考になることも多く有意義」との意見があがっている。	個人情報配慮が必要な点もあり、運営推進会議合同開催の家族の参加が得られていません。まずは、合同開催ではない時に参加を働きかけるなどして、適切な運用となることを期待します。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況 200文字	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議の際、地域包括支援センター、民生委員、町内会の方々にお越し頂いており、当施設の状況をお伝えしている。	介護保険の更新手続きで旭区役所の窓口を訪ねている。中国帰国者や生活保護費を受給している利用者の担当職員と必要時に連絡を取り合っている。管理者が保健所主催の食品衛生管理者研修に参加している。毎月、地域包括支援センターの職員が広報誌を持参して来所した際に話をしたり、オレンジカフェの開催などで職員と協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる	社内の身体拘束廃止委員会を中心に、意識的な身体拘束、無意識のうちに身体拘束と思われる行為や環境を作らないなど、職員全員で取り組んでいます。会議にて、社員全体で意識し取り組んでいる。会議録を読んで捺印している。	指針を整備している。身体拘束廃止委員会を開催し、身体拘束等の適正化のための研修を行っている。派遣社員も含め委員会や研修に参加できなかった職員は、SNSのアプリを活用して内容を共有している。利用者の生活環境が変わり帰宅願望が生じるのは当然と捉え、帰宅願望が生じる時間帯の把握のほか、落ち着かない様子や「帰ります」などの発言から、見極めて利用者に応じた有効な対応策を職員間で共有しケアをしている。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内での虐待防止委員会を中心となり、虐待についての意識を高め、防止に努めている。職員のストレスについては、日頃の面談含め、虐待行為を発見したら、マニュアルを元に対処方法の徹底を行う。	指針を整備している。高齢者虐待防止委員会を開催し、高齢者虐待防止のための研修を行っている。主任・ケアリーダー対象のメンタルケア研修に参加し、ストレスや心理的な問題の予防などを学び、受講内容を共有している。管理者は、職員がひとりでストレスを抱え込むことのないよう気を配っている。虐待を発見したら通報義務があることを職員間で共有している。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じて制度を利用出来るよう、社内外の研修には便宜参加している。現在該当者はいないものの、以前は成年後見人のついた方もいらっしゃったため、その都度便宜情報を得るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況 200文字	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にご利用者様・ご家族様が不安や疑問に感じていらっしゃる場合には、安心して利用できる様充分な説明を行っています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会等でご家族様から運営に関する意見・不満を聞いた場合は、ホーム長に伝えカンファレンス等で話し合い対応を考えています。	毎月「一言通信」を発行し、家族等に利用者の様子を伝えている。ブログを更新して事業所の近況を発信している。今年の家族会は夏祭りと同時に開催した。家族の意見・要望は、家族会開催時のほか、来所や電話連絡の際に把握している。家族からは「転倒しないように」「穏やかに過ごしてほしい」等の意向が多く届いている。	
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議や面談等にて、職員から意見を吸い上げています。普段からコミュニケーションを大切に、意見の言いやすい環境を作るよう努力している。	職員の意見・提案は、管理者が日々の会話や毎月の全体会議、個人面談などで聞き取り運営に反映している。会議に参加できなかった職員には、記録の閲覧やSNSのアプリを利用して内容を共有している。「猛暑なので戸外に出る洗濯干しや水やりなどの際に帽子を被ると良いのでは」という職員の意見を反映し、麦わら帽子を購入している。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	半年に1回の割合で職員面談を行っています。現状の問題や今後の目標など伺い、意欲的に働いていける様に努めています。研修にも積極的に参加出来るよう支援を行っています。	管理者は、個人面談などを行い、職員のストレスの要因や疲労について気を配り、職員の間関係の把握に務めている。有給休暇などの取得は、希望に沿えるようにしている。産休や介護休暇、永年勤続表彰などの制度がある。トイレの1ヶ所を職員専用に変更したり、広い脱衣所を休憩室として使用できるようにして職場環境を整えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況 200文字	次のステップに向けて期待したい内容
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内の研修に積極的に参加し、経験・役割・知識に合わせた研修に取り組んでいます。又、資格取得に関して、出来る限りの支援を行っています。	職員は、法人や事業所の年間研修計画に基づき、様々な研修を受講している。受講後は、資料配布などを行い、研修内容を共有しスキルアップにつなげている。定められた資格取得などの研修の受講には、支援制度がある。事業所がサテライト型に変更になったことで役割が明確になり、職員は仕事を任されることにやりがいを感じ、力を発揮している。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣事業所との、毎月1回のオレンジカフェを通じ、交流を深めています。外部の研修にも参加する機会を作り、より良いサービスを行っていただけるように努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族様と連絡を密に取り、ご家族様の心境・不安・ご本人様の回りの環境など聞き取りを行っています。又面会等で、ご家族様と別々にお会いしたり、お話ししています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様との連絡を密に取り、安心して頂ける様努めています。面会時や毎月のお手紙等でご意見・ご要望を伺っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	居宅介護支援専門員と連携を図り、ケアプランを送って頂き、在宅での生活の様子を伺っています。その上で初回面談を行い、面談時の様子と事前に得た情報を元にケアプランを作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況 200文字	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	朝の掃除や、毎食後の片づけ後のお手伝いを積極的に参加して頂いています。ご利用者様は普段から、役割を持って頂く事で、張りのある生活を送って頂くように努めています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の電話や手紙や一言通信などで、近況を適宜報告しています。医療連携への受診、介護保険の更新等の際にはご家族様にお願いしています。ホームに入居しても、ご家族様と共に介護を行っていると考えています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	検温、手指消毒、体調確認などの衛生管理を行った上で、ご家族様やご友人との楽しい時間を持って頂き、馴染みの関係を継続して頂ける支援を行います。	電話を取り次ぐ機会がある。新型コロナ終息後は友人などの来訪が絶えている。定期的に来訪する移動パン屋や移動スーパーの店員、訪問理美容師などは、利用者と顔馴染みの関係になっている。家族と法事に出かける利用者の支援をしている。ノンアルコールビールを嗜む方や草花の水やりを希望している方など、利用開始前からの習慣の継続を支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々のレクリエーション等の機会を通じて、皆様と楽しんで頂ける機会を作っています。耳が遠い方、集団の中で孤立する恐れの方に対して、会話の取り持ちを行うなど支援を行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他施設への転居などで退居される方に対しては各関係機関への情報提供を便宜行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況 200文字	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	言葉だけでなく表情や行動等で表す意向、これまでの経緯から推し量る意向等を情報として、カンファレンス・会議・申し送り等で検討している。	日々の生活の中で「歌うことが好き」などを把握し、居室でDVD鑑賞を楽しむ支援をしている。日本語が話せない中国人帰国者を受け入れ、翻訳アプリやジェスチャー、イラストに母国語を記した手作りボードを使い意向を確認している。言葉に表すことが困難な利用者と同様、態度や顔に現れる変化を見逃さないようにして意向を推測し検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際の面談において生活歴を伺い、職員間で情報共有を図っている。また、居宅のケアマネージャーと連携し、事前にケアプランを頂いたり、担当者会議に参加するなどして、生活環境や経過の把握を行っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	安全の範囲内で自由に生活して頂き、その中でご本人様の状況を把握する事に努めています。カンファレンスや申し送りなどで、日勤帯・夜勤帯の様子情報を集め、状態の把握に努めています。		
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様の意向・ご家族様の意向を直接聞いたり、アセスメントから情報を読み取り、モニタリングや計画の見直しを行い、必要事項を本人・家族・職員・医療関係者等と連携して、介護計画を作成しています。	医療、リハビリなどの従事者のアドバイスや家族の「趣味の水やりをさせてほしい」などの意向を取り入れて作成している。介護計画の更新時や半年ごとに見直しをしている。モニタリングを行い、実施状況や今後の対応などを評価して介護計画を作成している。毎月のユニット会議でアセスメントを行い利用者の変化を捉え支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況 200文字	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を共有し、新しい情報として介護計画の見直しにかかしている。心理面では生活全般の情報・状況を参考にカンファレンス等で検討し、介護計画に生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	地域包括等を通じて社会資源の情報収集に努め、ご利用者様の経済状況やニーズ等を考慮し、多様なサービスに対応出来る様努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア・包括等からの協力を得ており、インフォーマルなサービス（オムツ給付・移動パン屋・移動スーパー等）も活用し、支援を行っています。		
30	14	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所指定のかかりつけ医が居るが、ご本人様・ご家族様の希望を尊重し、従来のかかりつけ医の受診をされる場合には継続出来るように支援している。	従来からのかかりつけ医の受診は可能としている。現在は、利用者全員が協力医療機関と契約し月2回、精神科医と歯科医の訪問診療を受診している。週1回、看護師と歯科衛生士が来所し健康観察や口腔ケアを行っている。家族対応としている整形外科などの外部医療機関の受診結果は「受診報告書」で共有している。モバイル端末を使った誤薬防止服薬支援システムを採用し投薬ミスを防いでいる。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	普段の生活の中で、普段と違う点など、連絡記録に記入し、訪問診療時や医療連携看護師の訪問に相談したり、指示を仰いだり質問に答えて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況 200文字	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけ医との連携を密にし、他の医療機関に掛かる際には主治医から、情報書類を頂いている。又、退院時にも入院先から情報書類を頂く事で、退院後の連携を図っている。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様に重度化した場合の対応を入居時に説明している。実際に看取り対応の経験もあり、普段から説明をし、その時が来た時に選択して頂ける環境を作っている。	契約時に「重度化した場合の対応に係る指針」と「看取り介護指針」に沿って行う事を家族等に説明し同意を得ている。医師が回復の見込みがないと診断した際は、医師の説明のもと家族等、事業所の3者で方針を共有し確認している。現在、1名の看取り介護に取り組んでいる。職員は「看取り介護マニュアル」を確認して備え、支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故に対しては速やかにかかりつけ医療機関・ご家族様に・上司に連絡・報告すると共に、適切な対応処置や初期対応に努めています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の定期的な避難訓練を行っており、訓練の際には消防署にも協力を仰いでいる。又、土砂災害警戒区域である為、近隣特養に避難出来るようお話ししている。火災時備蓄品は倉庫にて保管している。	事業所は、自然災害のリスクを把握している。災害時には、建物が倒壊しない限り事業所での待機を基本としている。10月に夜間想定火災訓練と心肺蘇生・AEDの訓練を行っている。業務継続計画を作成している。令和7年3月に感染症の研修・訓練の予定がある。五目御飯、カレーなど3日分の食品と水5日分を備え、その他カセットコンロなどの生活備品を整えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況 200文字	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入浴や排泄等、羞恥心を感じる場面では特に言葉や態度に気を付けている。拒否等見られる時には時間を置いたり、人を替えるなどして、出来るだけプライバシー配慮して対応している。	利用者への尊敬の念を大切にし、時折なれなれしくなる声掛けには注意を払っている。同性介助の希望に応じて支援している。訪問診療時に、受診内容により配慮が必要な方は居室で行い、プライバシーを損ねないようにしている。「接遇マナー」の研修内容は、伝達研修で共有し学びを深めている。写真や動画などの使用承諾を家族等と取り交わしている	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉だけでなく行動・感情等見逃さないよう気を配っている。移動パン屋や出前等の際には、自分で選択し自己決定出来る環境づくりに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	特に決まったスケジュールはないが、その日の流れによって、柔軟に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回訪問理美容に来て頂き、本人の希望に沿ったカットをしている。外の店を希望される方は、ご家族様の協力を得て希望に沿った対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況 200文字	次のステップに向けて期待したい内容
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事はチルド食になっていて、湯せんして、盛り付けしています。おやつに関しては、毎月出前レクやおやつレクを交互に行っています。季節に合わせた食事なども提供しています。	専門業者の献立に基づいた食品を湯煎し提供している。チルド食は、栄養管理や衛生管理ができていて味に偏りが無い利点があり使用している。利用者は食器拭きなどで食事に関わり力を活かしている。移動パン屋で食べたい物を利用者各々が食べたい物を選んだり、寿司などの出前を取ったり、「おやつレク」を行うなど、利用者が食事を楽しめるように工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスの摂れた献立を提供している。ホームでは、食事形態・摂取量・水分量・体重、又は排泄のチェックを行い、多目的に把握する様努めており、必要時は協力機関（内科・歯科・看護）の指示を仰いでい		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの声掛け・介助を行っています。又、週に1回歯科往診にて、口腔内を診て頂いており、ご本人様・介護スタッフへのアドバイスを頂いています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を使用して、ご利用者様の排泄パターンを把握し、訴えない方に対しては、定時の誘導を行っています。ご自身でトイレに行く事が出来るが汚してしまう方等には、その人にあったパット選びを行い、出来るだけご自身で出来るよう支援を	利用者の排泄パターンを把握し、落ち着かない様子などを捉えて声掛けし、トイレで排泄できるよう支援している。排泄ラダー研修に参加し、おむつの構造、種類、装着方法などを学び、利用者におむつが合っているかを検討し、吸収力のあるものや、肌荒れが防げるように改良されたパッドも取り入れ支援している。パッドの使用量にも配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄のパターンの記録・把握に努め、水分量や食事量・食事形態等を把握しながら、便宜医療機関に相談している。又、牛乳等の乳製品を摂る事で、排泄がスムーズに行かれる方には、個別に注文し、支援を行っていま		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況 200文字	次のステップに向けて期待したい内容
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週に2回以上の入浴の機会を提供している。その上で入浴時間やタイミングは出来るだけ利用者様の希望に沿って行っています。拒否のある方に対しては、羞恥心に配慮し同性介助を行ったり、時間を置いて再度声掛けする等して対応している。	座位が取れない方は、1階の機械浴を使用している。入浴を好まない方には強要せず「美人になりましょう」「好みの湯温になっていますよ」など、声掛けに工夫をして入浴を促している。同性介助の支援をしている。職員の支援により、何気ない職員との会話や旅行の話を楽しんだり、歌を唄い出す等、利用者は、くつろいだ気分の中で、入浴をしている。浴室と脱衣場にはエアコンなどを設置してヒートショック対策	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来る限りご本人様の生活習慣や意向に沿うようにしている。ご本人様が穏やかに生活できるような環境づくりに努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ミス防止を為、昨年9月より服やっくんを導入し、一人で服薬するようになっていきました。また、ご利用者様の状況に応じ、医師・薬剤師と連携を図りながら、薬のパッケージを適宜変更している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人様の趣味・意向またはアセスメント等からカンファレンスで検討をし、日常生活の中で個別に支援を行っています。また、食器拭きや洗濯畳など出来ることはやって頂き、役割を持って張りのある生活になるよう		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	花に水をあげたり、外の物干し竿に洗濯物を干して頂いたり、外気浴をするなど楽しんで頂けるよう努めている。	4月にお花見に出かけている。利用者は、購入した麦わら帽子を被り、物干し場で洗濯干しをしたり、草花の水やりやベランダで外気浴をして、気分転換を図っている。また法人が主催するリモート体操や、毎月サテライト本体の事業所が開催するオレンジカフェにリモートで参加している。家族の協力を得て自宅に立ち寄り、法事や墓参りに出かける利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況 200文字	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にホームにて、金銭管理を行っているが、ご利用者様の希望に合わせて使用できるよう対応している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者様が手紙を書かれた場合には、職員がポストに投函している。ご家族様の電話は適宜お取次ぎしています。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアや廊下・玄関など塗り絵やレクの作品や写真等を掲示しています。季節感をもたらす為、装飾品においても、随時変更しています。また、温湿度計を設置し、出来るだけ快適に生活していただけるようにしている。	事業所内は、落ち着いて過ごせる空間となっている。車いすや歩行器の通行に支障のないよう動線を確認している。窓越しの光はカーテンで調節し、空調の温度管理をして快適に過ごせるようにしている。医師の助言から、雑菌などの発生が危惧される加湿器の使用は控えている。季節行事に合わせた木の葉や朝顔などの貼り絵の装飾をして四季を感じ取れるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにソファを設置し、皆さんで過ごせる空間・一人で過ごせる空間、一人でいても周りに皆がいるような空間などの環境づくりに努めている。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様やご本人様と相談して、使い慣れた家具や物を使用しています。ご自分で描いた絵・写真を貼っている方もいらっしゃいます。	事業所が洗面台、介護用電動ベッド、エアコン、照明器具、クローゼット、チェスト、カーテン、寝具を準備している。週1回シーツ交換を行い、毎日早番の職員が掃除をして清潔を保っている。職員と一緒に掃除をする利用者がある。利用者の居室の様子は様々で、テレビ、仏壇、ぬいぐるみ、カレンダー、写真、時計、藤の椅子などが持ち込んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況 200文字	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室にはイラストを使用し、視覚にて場所を理解して頂ける様配慮している。又ご利用者様の認知度に合わせて、必要な方には居室内に掲示を行い、理解しやすい環境づくりを行っています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 みんみの家・横浜今宿

作成日 2025.3.29

【目標達成計画】 1F

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議 合同用催の家族 参加がない。	運営推進会議の 家族参加。	合同用催ではない 単体の運営推進会議 に家族参加を促す。	6か月
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

目 標 達 成 計 画

事業所名 おんの家・横浜今宿

作成日 2025. 3. 27

【目標達成計画】 2F

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		運営推進会議 合同開催の家族 参加が難しい。	運営推進会議の 家族参加	個人情報には 西乙庵に11子事を 説明し参加を促す	6ヵ月
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
 注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。